



広 報

第 2 号

発行：令和5年11月17日

文責：綾里小学校創立150周年

記念事業実行委員会事務局

(綾里小学校内 42-2100)

綾里小学校創立 150 周年記念学習発表会



10月21日(土)に、綾里小学校体育館を会場に、学習発表会が開催されました。

この日、会場には現在の校旗を掲げ、校旗が寄贈されてから今日までの長い歴史を感じ取ることができました。

また、現校旗寄贈者である佐々木 政美氏のご令孫にあたる佐々木 博子さんご夫妻をご来賓としてお招きし、学習発表会を最後までご観覧いただきました。

創立150周年を記念してのオープニングセレモニーでは、全校児童による呼びかけと歌「ふるさと」「校歌」を披露しました。呼びかけは、学校誕生や校旗の紹介にも含めた学校の沿革にも触れ、3つの大きな津波を経験しながら、先人たちの歴史や、力強く生きてきた先輩たちの意を受け継いでいこうとする児童の決意が伝わるものでした。



また、2つの曲を全校児童で元気いっぱいに奏で、会場に歌声を響かせることができました。

今年は、会場の観覧人数の制限を設けずに開催された学習発表会。創立150周年という記念すべきこの年に、会場いっぱいの温かい拍手を受け、児童たちが幸せをかみしめている様子でした。

当日、多数おこしくださったご来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

東海新報に掲載されました

本事業として進めている校旗の新調に向けての実行委員会の取組の様子について、7月1日と10月20日の2度に渡り、東海新報に連載されました。ここでは、昭和46年に校旗が寄贈された当時の新聞記事にも触れています。寄贈者の佐々木氏の生い立ちや人物像、これまでの功績等を探るため、佐々木氏のご令孫の博子さんや、佐々木氏と接点がある方々と接触し、お話をうかがい、記念リーフレット作成へとつなげているところです。



綾里小の現在の校旗。右下に佐々木氏が寄贈したことを示す刺しゅうがある

創立150周年機に新調へ

約50年前に郷里の先輩が寄贈

綾里小学校の校旗

「約50年前に郷里の先輩が寄贈した校旗を、今年創立150周年を機に新調する予定です。校旗には、母校に感謝の気持ちが込められています。また、母校の歴史や功績を伝える役割も果たしています。新調された校旗は、児童・教職員が誇りをもち、地域に誇りをもち、郷里を誇りに思えるよう努めます。」

明治6年7月創立の同校。同校の三階船大津が、大政美（おほま）氏（故人）に刺しゅうされた校旗が、今年10月18日付の東海新報に掲載された。大政美氏は、母校に感謝の気持ちを込めて、約50年前に校旗を寄贈された。大政美氏は、母校の歴史や功績を伝える役割も果たしています。新調された校旗は、児童・教職員が誇りをもち、地域に誇りをもち、郷里を誇りに思えるよう努めます。

本年度で創立150周年を迎える大船渡市立綾里小学校（渡辺博子校長、児童75人）は、周年記念事業として校旗の新調を計画している。これにかかり、実行委員会や教職員らが同校校旗の歴史について調べたところ、「綾里出身の小学校教諭だった人物が『子どもたちに誇りを持たせたい』と50年以上前に寄贈したものであると判明。同実行委では、子どもたちの健やかな成長のために尽力した郷里の先輩に感謝を伝えるとともに、その功績と想いを児童や地域住民に知ってもらう機会にしよう」と事業を進める。（菅野弘大）



校旗が贈呈された経緯が書かれた東海新報の昭和46年3月18日付記事

なお、東海新報には、この後も連載予定となっており、校旗新調までの歩みを辿っていくこととなります。

現在、記念リーフレット・事業・広報各3部会を開催し、最終的な事業のゴールに向けて計画的に進めているところです。

もう一つの事業「卒業生のお話を聞く会」は、11月28日（火）に、第1回目を児童対象に開催する予定です。

「卒業生のお話を聞く会」は、11月28日（火）に、第1回目を児童対象に開催する予定です。この会は、卒業生から学校生活や地域生活についてのお話を聞き、児童が学校生活や地域生活について理解を深め、郷里を誇りに思えるよう努めます。



佐々木政美氏の孫・博子さん（右端）から話を聞く実行委のメンバーら（7月）

事業成功へ計画進む

校旗新調、リーフレット製作へ

創立150周年の綾里小

大船渡

大船渡市立綾里小学校（渡辺博子校長）は、今年度で創立150周年を迎えるにあたり、地域住民などからなる実行委員会（熊谷善太郎委員長）が、周年記念事業を進めている。実行委では、校旗の新調や、卒業生のお話を聞く会、リーフレットの製作などを計画し、事業を進めるための協賛金を募っており、地域に協力を呼びかけている。（菅野弘大）

協賛金へのご協力ありがとうございます

この事業の推進にあたり、地域代表者や、各事業所の皆様から多数のご賛同をいただき、記念事業費（150万円）への協賛金をいただいております。ありがとうございます。予定金額にはまだ届いていない状況であることから、今後実行委員がお願いに上がることがあるかもしれません。引き続きのご協力よろしくお願いたします。